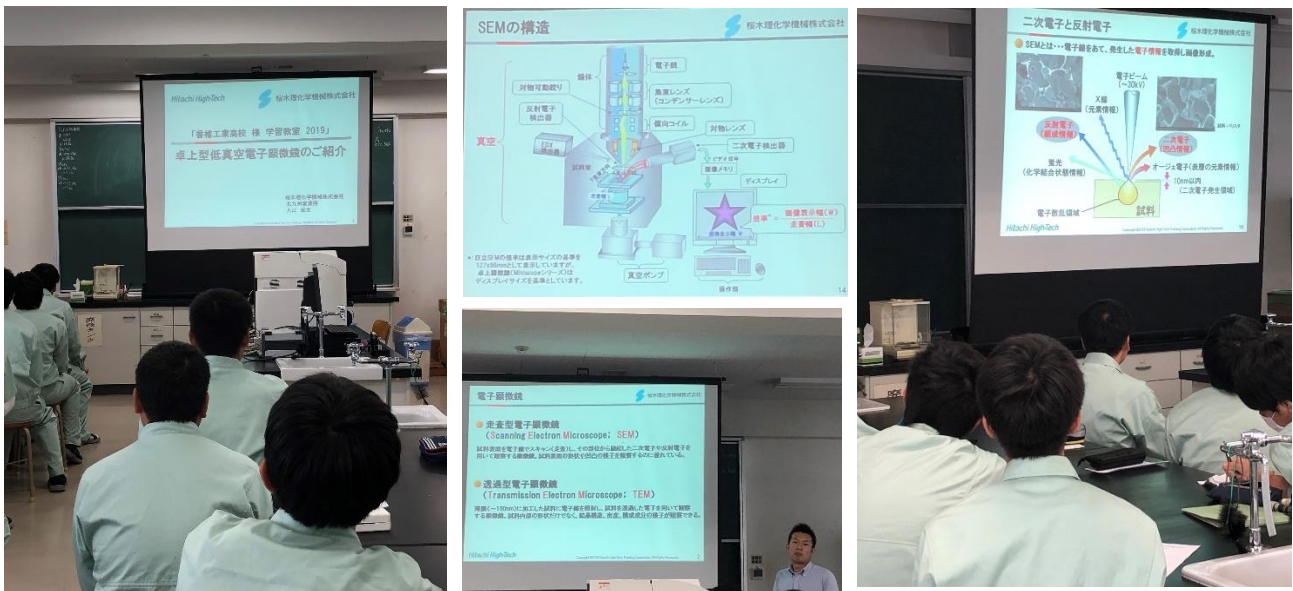


高度熟練者による実践的な実習指導 卓上型低真空電子顕微鏡の操作

11月11日（月）、12日（火）に本校実習室で、工業化学科3年生を対象に産学官連携産業人材育成事業「高度熟練者による実践的な実習指導」として、桜木理化学機株式会社の皆様から電子顕微鏡の操作を教えてくださいました。

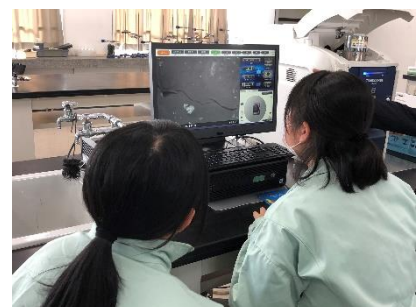
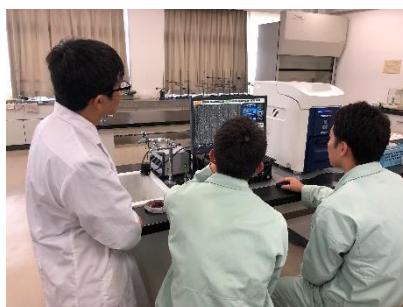
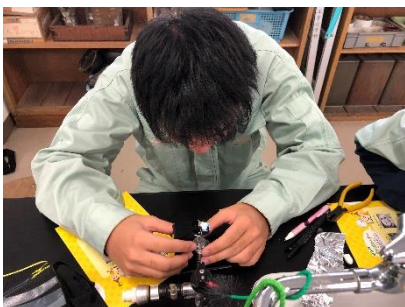
まず「卓上型低真空電子顕微鏡の紹介」というテーマで入江様から講義していただきました。最初に電子顕微鏡の原理を説明していただき、電子顕微鏡には透過型電子顕微鏡TEM（Transmission Electron Microscope）と走査型電子顕微鏡SEM（Scanning Electron Microscope）の二つのタイプがあることと、各特徴を説明していただきました。

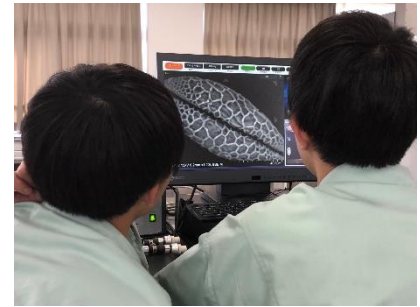
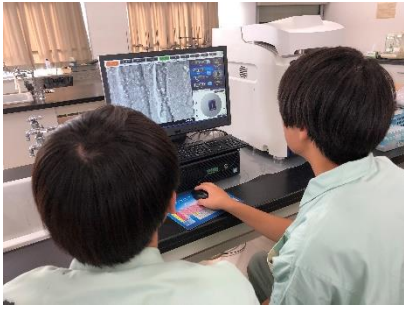


今回の授業では、走査型電子顕微鏡SEM（Scanning Electron Microscope）を使わせていただき、生徒たちが持ち寄った身近なものを観察しました。

電子顕微鏡は真空中で観察しますので、真空ポンプの操作と試料を固定する方法を教えてくださいました後、倍率を調整しながら自分たちの試料の観察を行いました。

生徒は、大変貴重な体験をさせていただきました。





桜木理化学機械株式会社の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。